スマートモビリティ社会における ロケーションインテリジェンス



ESRIジャパン株式会社
新事業開発グループ　スマートモビリティ推進担当
矢口　浩平

ESRIジャパン株式会社

- 設立　：2002年
- 代表者：代表取締役社長　正木 千陽
- 本社　：東京都千代田区平河町
- 社員数：200名
- 拠点　：札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
- 国内　：約24,000ユーザー
  約380,000ライセンス

ArcGIS





GIS（地理情報システム）ソフトウェア市場
国内シェア　No.1

※市場調査会社による

Esri Inc.

GIS & Location Intelligenceのグローバルリーディングカンパニー

- 設立：1969年
- 本社：米国カリフォルニア州レッドランズ
- 代表者：Jack Dangermond
- 従業員：約4,000人
- 米国：10オフィス

- 全世界に350,000以上のユーザ／1,000,000ライセンス
- 150か国以上に展開
- 海外ディストリビュータ80社以上

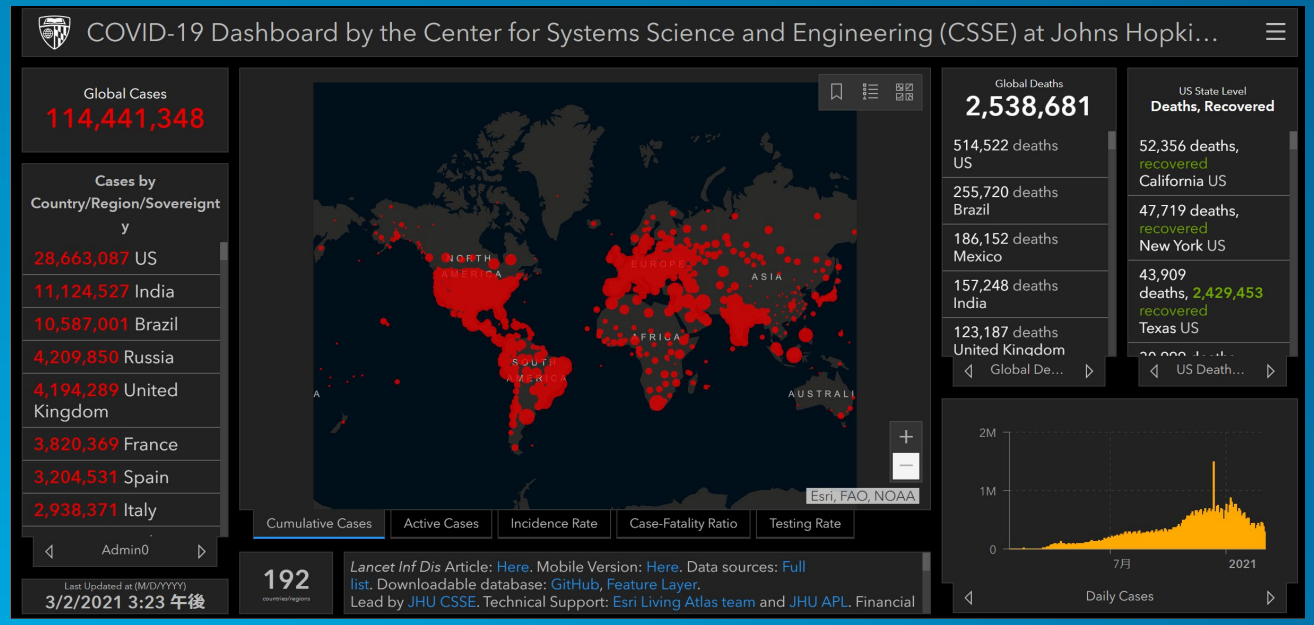
ArcGIS

グローバルシェア No.1

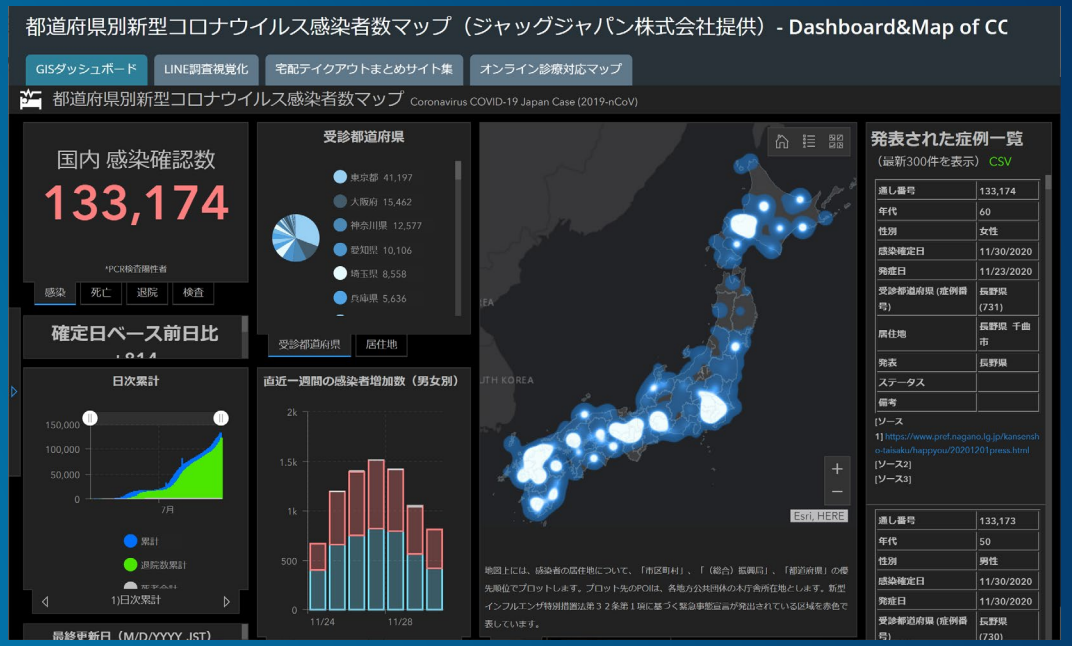


新型コロナウイルス（COVID-19）

各種メディアで取り上げられ、感染症数のモニタリングに活用いただいております。



COVID-19 Dashboard
Johns Hopkins University



都道府県別新型コロナウイルス感染者数マップ
ジャッグジャパン株式会社

ロケーションインテリジェンスとは？

位置に関する情報を地理的に可視化・分析することで、
新たな気づきを得て、
合理的で戦略的な意思決定を実行することである。



9つのロケーションインテリジェンスの活用パターン

マッピング



地図上で可視化することで、位置関係や、傾向などを理解します。

データ管理



様々な種類、形式のデータを収集、整理し、一元的に管理します。

現地調査



スマートフォンやタブレットを使用し、現地であらゆる情報を収集します。

分析



傾向やパターン、定量化や予測のための分析をします。

- Geoprocessing
- Machine Learning & AI
- Micros services for Big Data

モニタリング



移動体やセンサー情報のリアルタイム追跡、管理、監視を行います。

計画



様々な可能性を考慮した最適な計画を立案します。

意思決定支援



状況認識を行い、正しい意思決定を行います。

合意形成



コミュニティやステークホルダーとの連携、合意形成を行います。

情報共有



誰もが簡単に地理情報にアクセスし、表示、検索、作成などができるようになります。

スマートモビリティ社会におけるロケーションインテリジェンス



- 新しいモビリティサービスの実現
- モビリティサービス由来のデータを活用したスマートな社会の実現

スマートモビリティ社会におけるロケーションインテリジェンス



- 新しいモビリティサービスの実現
- モビリティサービス由来のデータを活用したスマートな社会の実現

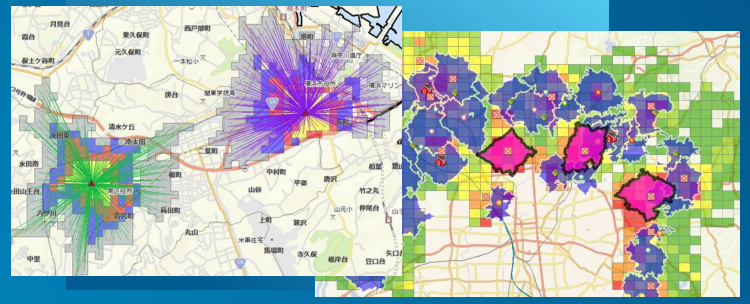
モビリティサービスにおける主なロケーションインテリジェンスの活用場面

市場分析



客観的データを基にした市場の把握

適地選定



競合や自社拠点を考慮した適地選定

道路ネットワーク分析



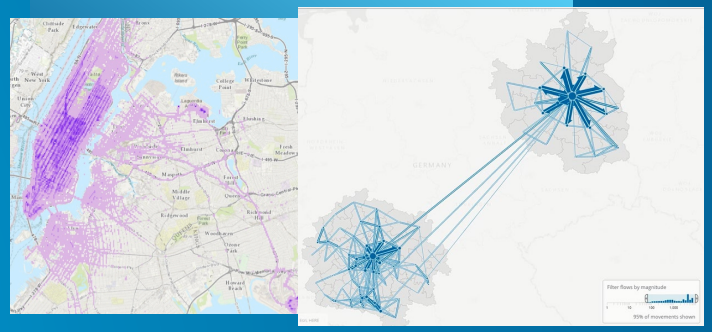
配車ルート計画、到達圏分析

リアルタイムモニタリング



移動体、定点センサー、気象情報などのモニタリング

顧客分析



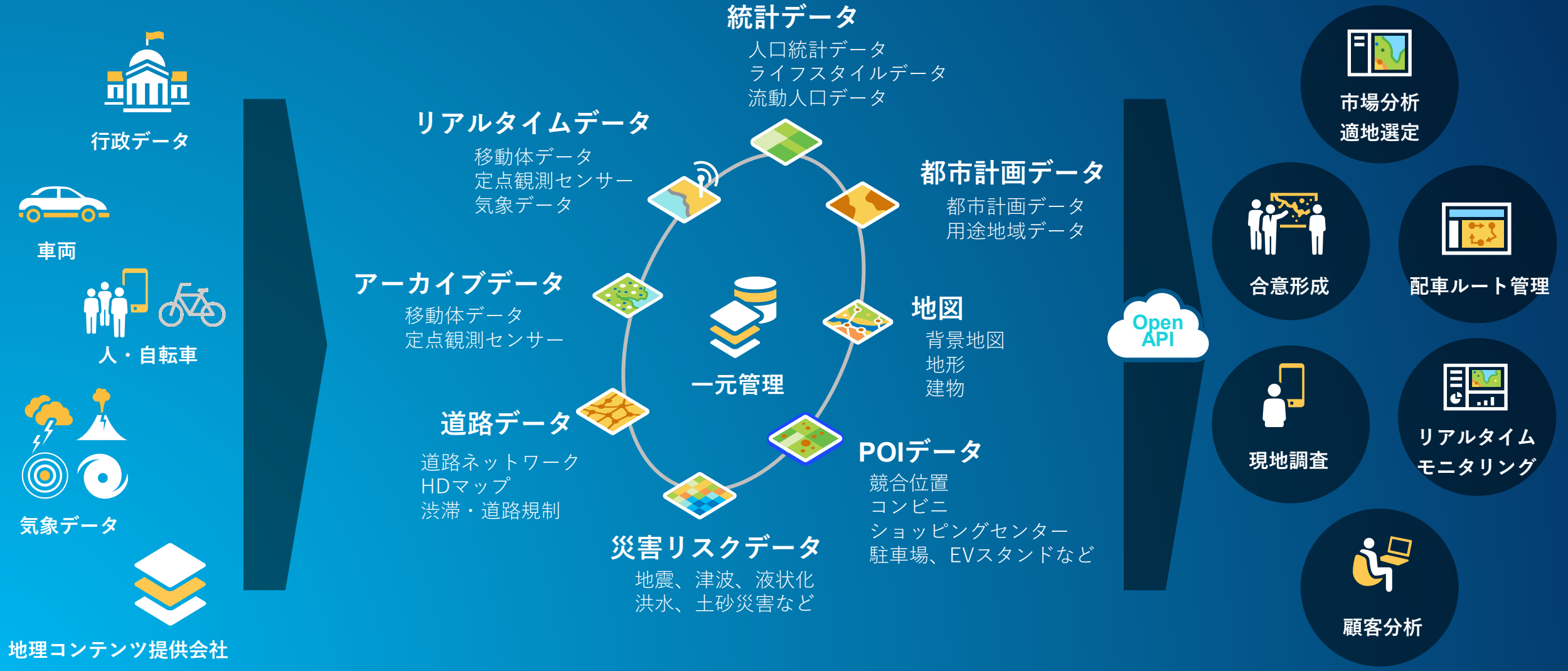
顧客位置、移動ログ可視化、分析

データ管理



位置に関するデータを一元管理し、円滑な流通

位置に関する情報を一元的に管理することで、容易にデータへのアクセスが可能



スマートモビリティ社会におけるロケーションインテリジェンス

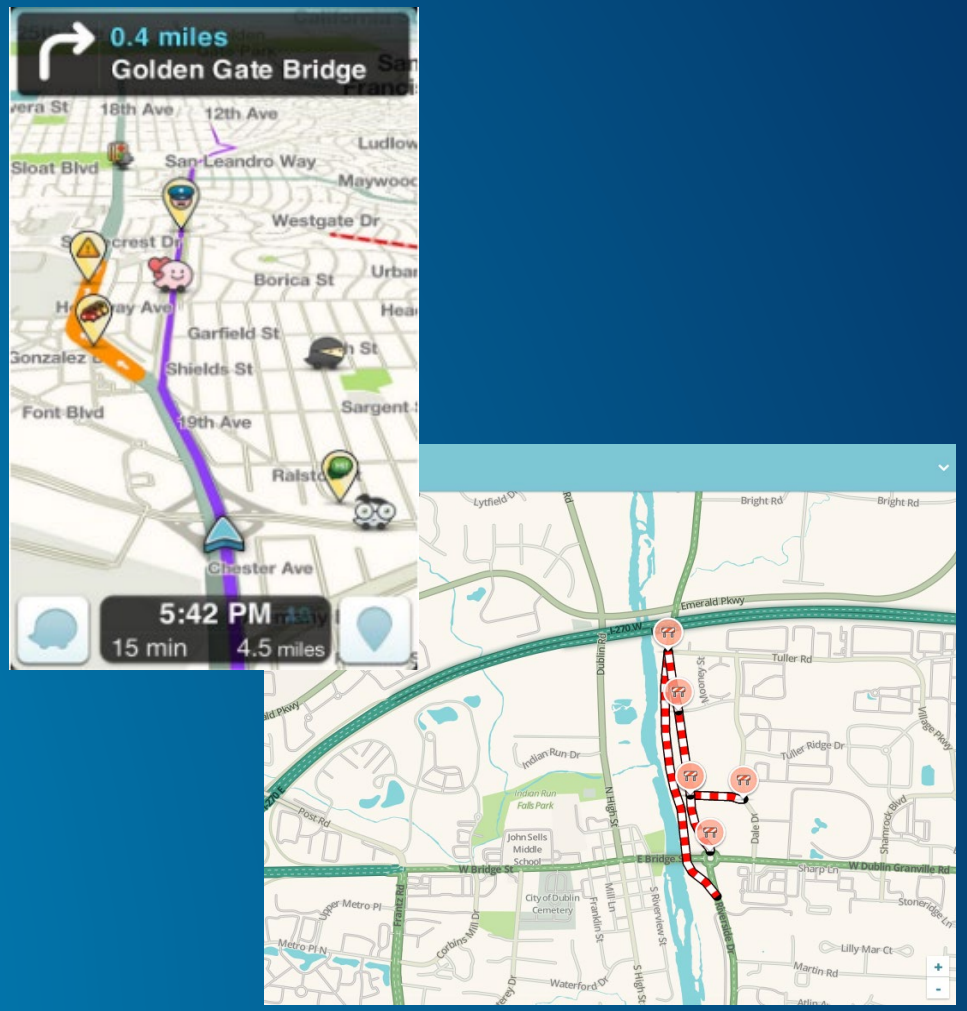


- 新しいモビリティサービスの実現
- モビリティサービス由来のデータを活用したスマートな社会の実現

クラウドソースを活用した交通スマートシティの実現：Waze & Esri

- コミュニティ主導のナビゲーションアプリ



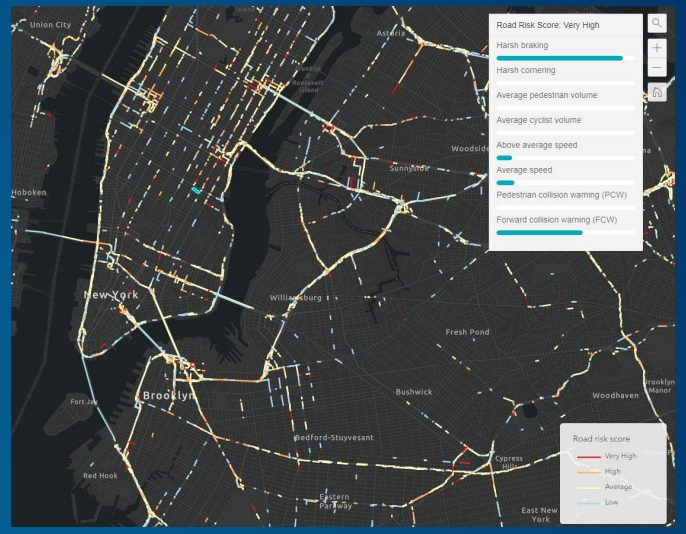


カーデバイスから得られる情報を活用した例：Mobileye

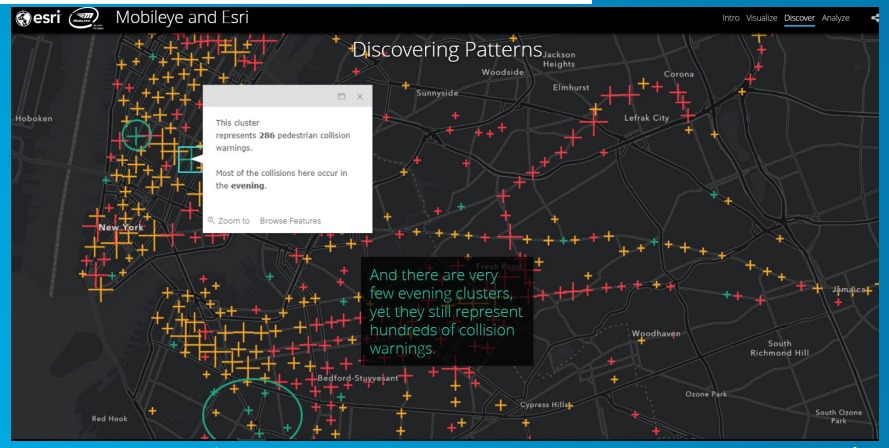
世界で6,000万台以上の車両に搭載されているMobileyeの画像認識チップ、デバイスから得られるデータ

- 安心安全に向けた街づくり、道路管理などでの活用





道路リスクをスコア化



ニューヨーク市ブルックリン地区における人の飛び出し分析

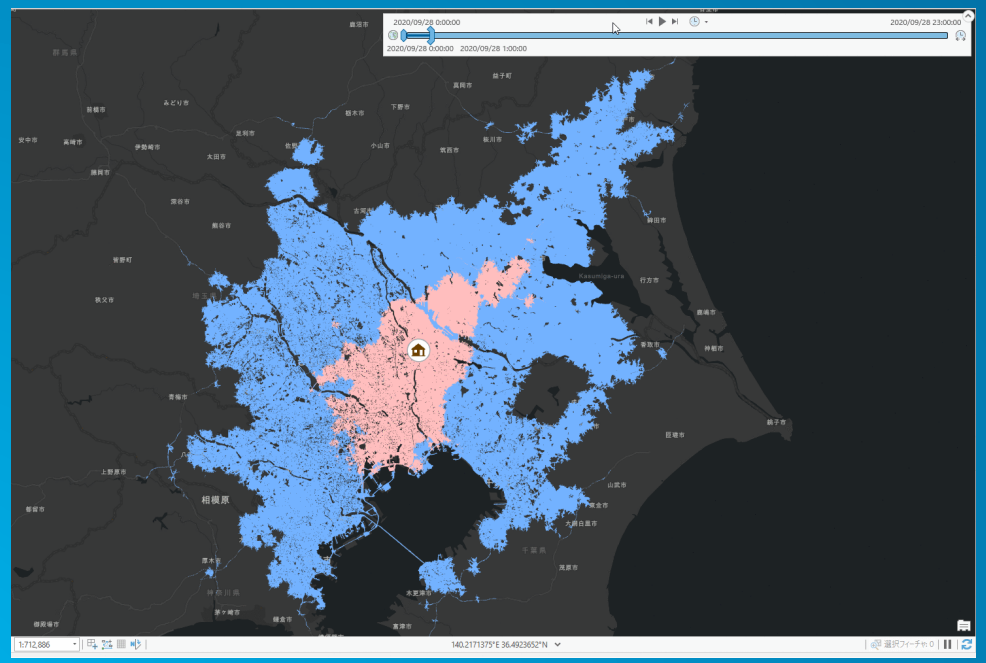


道路路面状況の抽出

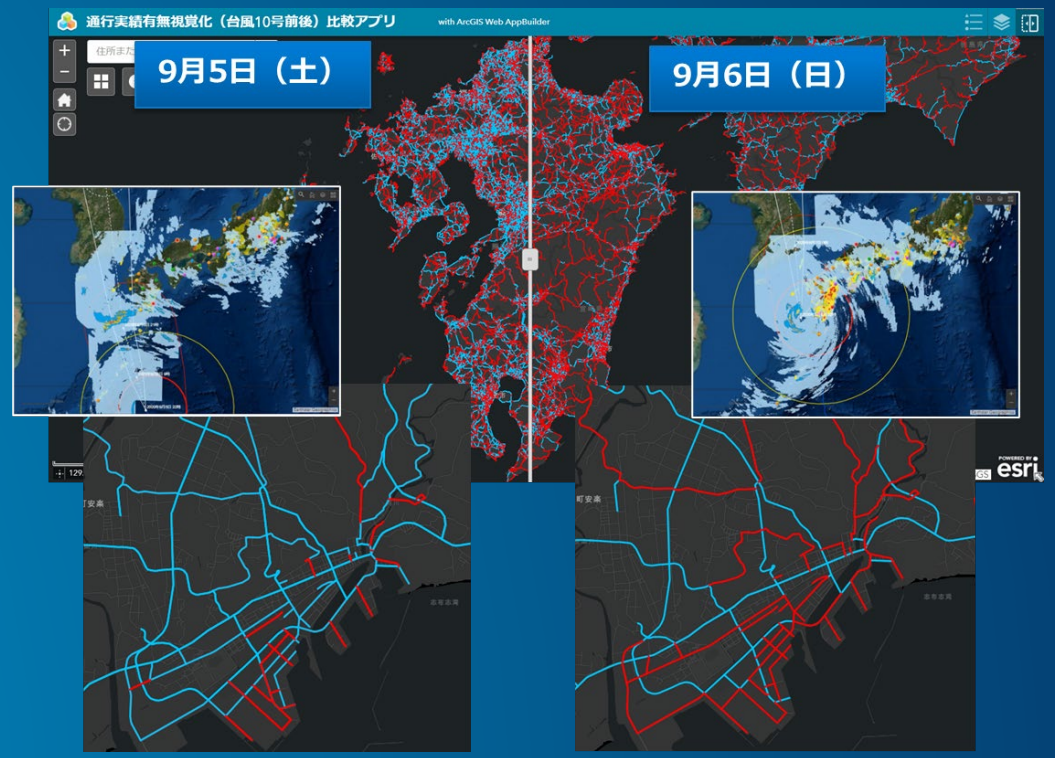
自動車のカープローブデータを活用した例：トヨタ自動車

国内のトヨタ車 200万台（2020年7月時点）のコネクテッドカーデータ

- 時間帯や曜日（平日・祝日）を考慮した高度な配送ルート計画、到達圏分析
- 発災時に通行実績道路の可視化



拠点から30分（橙色）60分（青色）で到達可能範囲



令和2年 台風10号の際の通行実績データ
青：通行実績あり、赤：実績なし

ロケーションインテリジェンスとは？

位置に関する情報を地理的に可視化・分析することで、
新たな気づきを得て、
合理的で戦略的な意思決定を実行することである。





★問い合わせ先
ESRIジャパン株式会社
スマートモビリティ推進担当　矢口浩平
kohei_yaguchi@esrij.com

Copyright© Esri Japan Corporation All Rights Reserved